

日 誌 (昭和41年 2 月)

【国 内】

- | | |
|---|---|
| <p>7日 ○東京証券取引所および大阪証券取引所、公社債の市場取引を再開(前月号要録参照)</p> <p>○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を引上げ(前月号要録参照)</p> | <p>11日 ○本行、債券買入制度を実施(前月号要録参照)</p> <p>15日 ○政府、昭和41年度地方財政計画を閣議で了承(要録参照)</p> |
|---|---|

【海 外】

- | | |
|--|--|
| <p>1日 ○IMF、ブラジルに対し125百万ドルのスタンバイ・クレジットを供与、期間1年</p> <p>○ジョンソン米大統領、対外援助教書(33.9億ドル)を議会に提出</p> <p>○英蘭銀行、市中貸出規制を継続</p> <p>○韓国、支払準備率を引上げ</p> <p>3日 ○ソ連、自動宇宙ステーション「ルナ9号」月の軟着陸に成功(打上げは1月31日)</p> <p>4日 ○エカフェ第18回産業天然資源委員会、バンコックで開催(14日まで)</p> <p>7日 ○英国、賦払信用規制等の強化</p> <p>8日 ○米、南ベトナム両首脳によるホノルル宣言発表</p> <p>12日 ○アルバニア、北ベトナム共同支援のための共産党国際会議の開催予定への参加招待(ポーランドより)を拒否</p> | <p>14日 ○フランス、新経済社会政策(いわゆるドブレ・プラン)を発表</p> <p>○台湾、市中金利を引下げ</p> <p>19日 ○ソ連、共産党中央委員会総会を開催、「国民経済発展5ヵ年計画(1966~70年)」草案を承認</p> <p>21日 ○インドネシア、内閣改造を行ないナスチオン国防相を更迭</p> <p>23日 ○ブンデスバンク売オペレート引上げ(半年もの以上各1/8%)実施</p> <p>26日 ○ジョンソン米大統領、ボールダストン連邦準備制度理事会前理事の後任に、A. F. プリンマー商務次官補を指名(3月9日就任)</p> <p>28日 ○英国、下院解散(3月10日)、総選挙(3月31日)の時期を発表</p> <p>○インド、1966/67年度予算案を議会に提出</p> |
|--|--|